

学術研究実績報告書

申請書との変更点およびその理由(内容、日程、実施場所、参加者等で変更があれば記入)

研究実績概要

研究代表者(申請者氏名・所属機関・職名):

三輪 宏太郎・九州大学・経済学研究院・教授

共同研究者(氏名・所属機関・職名):

研究課題名:

企業と投資家間の情報共有内容と企業価値

研究期間:2022年2月1日～2024年1月31日

概要:(1,000字以内で記述)

研究代表者(申請者氏名・所属機関・職名):

(背景)企業の社会的責任の重要性増大の流れを受け、対話機会の影響の研究が進む一方で、経営陣と投資家間、そして投資家間で交わされる対話の内容が企業評価にどのように影響を与えるかの解明は十分でない。

(目的)本研究では、決算説明会・投資家ミーティングでの会話の文字起こしデータ・アナリストレポートの情報を使用し、企業と投資家間の対話内容が、投資家やアナリスト企業評価にどのような影響を与えるか分析する。

(結果)本研究では、投資家と企業の対話の時間が豊富に提供される Analyst & Investor day のイベントに注目し、分析を行った。その結果以下のようなことが解明された

①主要参加者であるアナリストの業績予想は、会社のプレゼンテーションよりも、Q&Aセッション(投資家と会社の対話の場)のムード(センチメント)に大きく影響される

②対話の中でも、マネジメントの質問に対する返答・説明よりも、他の参加者の質問に強く影響されることが分かった。従って、投資家間との意見交換も、投資家の期待形成において重要な役割を果たしていることが実証的に示された

③対象企業の業績情報のみならず、関連企業の情報に関しても情報価値があることが示された。

(査読付き国際ジャーナル)

Miwa, K. (2023) Earnings Expectation and Interactive Discussion with Corporate Insiders, Research in International Business and Finance, vol. 64, 101895. (Journal Impact Factor 6.5)

Miwa, K. (2023) Informational Role of Analyst and Investor Days, Global Finance Journal, vol. 56, 100812. (Journal Impact Factor 5.2)

(国際学会発表)

2023年6月 Asian Finance Association Annual Meeting (ベトナム ホーチミン)題目 Cross-firm information in analyst reports

* 研究実績概要は「野村マネジメント・スクール研究助成実績報告書」および財団ホームページに掲載します